**あいちICT戦略プラン2020の取組状況について**

資料３

**1　ICT戦略プランの取組の概要**

（１）　ICT環境の、急速かつ大きな変化に的確に　　　　　対応し、県が戦略的に展開する施策をICTの活用で達成していくため、愛知県では2016年（平成28年）3月に**「あいちICT戦略プラン2020」**（以下**「ICT戦略プラン」**という。）を策定した。「あいちビジョン2020」の「めざすべき愛知の姿」の実現を支えていくことを基本方針とし、各計画で定めた具体的な目標の達成を支援することで、**「あいちビジョン2020」の「日本一の元気を暮らしの豊かさに」の実現**を目指している。計画期間は5年間（2016年度～2020年度）。

（２）　戦略の方向性として、**本県が取り組むべき4つのテーマ**（**観光・交流拡大、産業革新、暮らし安心・安全、ICT基盤強化**）が抱える課題について、最新のICTの活用による課題解決を図るため、戦略的に施策を展開することとしている。また、この戦略的取組の前提となる**「データ社会への対応」**についても併せて整理することとしている。

**２　ICT戦略プラン2020の進捗管理**

〇　ICT戦略プランでは、４つのテーマとデータ社会への対応として、169項目の施策展開の方向性を設定している。

〇　各取組において実績評価の指標を設定し、取組実績に対して自己評価する。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| テーマ | | 取組状況 | | | 取組主管課による自己評価 | | | |
| 新規(2019年) | 継続 | 完了 | 計画を  上回る | ほぼ  計画どおり | 計画を  下回る | 未着手 |
| Ⅰ | 観光・交流拡大 | ３ | 32 | 7 | 2 | 38 | 0 | 1 |
| Ⅱ | 産業革新 | 2 | 28 | 6 | 7 | 26 | 1 | 1 |
| Ⅲ | 暮らし、安心・安全 | 2 | 47 | 10 | 6 | 53 | 0 | 0 |
| Ⅳ | ICT基盤強化 | 1 | 16 | 7 | 1 | 22 | 0 | 0 |
| Ⅴ | データ社会への対応 | 2 | 5 | 1 | 2 | 5 | 0 | 1 |
| 合計 | | 10 | 128 | 31 | 18 | 144 | 1 | 3 |

※自己評価は、2019年度に検討を開始したため取組の評価が出来ない3事業を除く。

**３　あいちICT戦略プラン2020の取組状況**

**Ⅰ　観光・交流拡大**

**Ⅰ　観光・交流拡大**

今後、急速な人口減少・高齢化が見込まれる一方、国内外から人を呼び込み交流人口を拡大することで、地域を活性化し、新たな産業や雇用の

創出につなげることが求められています。

　地域ブランドを形成し、あいちファンの増加につなげるためには、本県固有の観光資源や文化・芸術・特産品などを、Webサイト、SNSなど

多様な媒体を活用することにより、より充実した広報活動を実施する必要があります。また多くの外国人に対して本県観光地のPRを行うために、多言語での情報発信が求められています。

ICT戦略プランの施策項目

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 施策の展開 |
| 1-1　観光振興の推進 | ・Webサイト、ＳＮＳによる観光関連情報の充実  ・外国人旅行者の受入環境整備　　等 |
| 1-2　スポーツ大会・映画等ロケ誘致促進 | ・スポーツ大会・合宿等の誘致  ・大規模イベントの誘致・開催　　等 |
| 1-3　情報発信力の強化 | ・「ネットあいち」を始めとする、Webサイトの活用  ・デジタルサイネージなど多様なメディアの活用 |

### 【1-1観光振興の推進】

**＜Webサイト、ＳＮＳによる観光関連情報の充実＞**

〇　県の観光HP「愛知の公式観光ガイド　Aichi Now」の多言語化（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語）

**タイ語ページ閲覧数（2016年に追加、同年の実績）：27,645件**

#### ○　LOVEあいちサポーターズのSKE48を起用した愛知県の観光PR動画を期間限定公開

**動画の視聴回数（2018年10月～2019年3月）：187万回**

#### ○　県の観光施設のバリアフリー状況を調査、県の観光HP「Aichi Now」に掲載

#### **Webサイト閲覧数（2019年度）：5,911,269件**

**＜外国人旅行者の受入環境整備　＞**

#### ○　外国人旅行者向け無料公衆無線LAN簡易接続化アプリ「AICHI Free Wi-Fi Connect」

### 2020年3月24日配信開始

### 【1-2　スポーツ大会・映画等ロケ誘致促進】

**＜スポーツ大会・合宿等の誘致＞**

#### ○　愛知県のスポーツ大会情報等を発信するWebサイト「aispo!web」や、SNS等の運用

**地域活性化を促進するためのＰＲ、会議等活動回数（2019年度）：360回**

**＜大規模イベントの誘致・開催＞**

　　〇　愛知県の文化的な地域資源を次世代に引き継いでいくことを目的に、県内５大学の学生が伝統文化や郷土芸能を体験し魅力等を発信

**2017年度の情報発信数：Twitter　759回、公式Instagram　155回**

### 【1-3　情報発信力の強化】

**＜デジタルサイネージなど多様なメディアの活用＞**

〇　(株)セブン銀行が運営する海外送金アプリにおいて、９言語による外国人県民向け地域情報を掲載し、情報を配信

**2016年度配信開始**

**＜ネットあいち」を始めとする、Webサイトの活用＞**

#### ○　「あいちの住みやすさ発信サイト」による魅力発信

**サイト閲覧数（2019年度）：36,247回**

**Ⅱ　産業革新**

　　　日本の「産業首都」として、引き続きわが国の産業・経済を牽引していくためには、研究開発機能の強化により、産業を支える革新的技術のレ

ベルを引き上げ、付加価値を高めていくとともに、新たなイノベーションを継続的に創出していくことが欠かせません。

県では、基金を設けて支援を行うことで、自動車産業、航空・宇宙産業、ロボット産業の振興を図り、モノづくりの競争力を高めることで、新

たな産業の創出につなげます。また、農林水産業やサービス業の分野についても、最新のICTの活用により、競争力を高めていくよう、成長を

促していきます。

ICT戦略プランの施策項目

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 施策の展開 |
| 2-1　モノづくり産業の競争力の更なる進化 | ・創業の支援、開発・立地の促進  ・モノづくり人材の育成　　等 |
| 2-2　農林水産業の競争力の強化 | ・特産品のPR強化  ・効率的な森林整備　　等 |
| 2-3　ICTの新たなビジネスモデルの開発・人材育成 | ・IT産業の支援・創業支援  ・ICTスキルを持つ人材の育成 |
| 2-4　商業の活性化 | ・商店街情報の発信強化 |

### 【2-1　モノづくり産業の競争力の更なる進化】

**＜創業の支援、開発・立地の促進＞**

#### ○　｢知の拠点あいち｣を中心とした産学行政の連携による共同研究開発プロジェクトの推進

**2019年度のテーマ**

|  |  |
| --- | --- |
| ①大規模材料データ及びCAEによる自動車向け設計生産技術 | ⑥直流スマートファクトリー実現に向けた変換装置の開発 |
| ②2次電池の材料開発/寿命評価用データベース構築とAI/IoT応用 | ⑦農業ビッグデータ活用によるロボティックグリーンハウスの実現 |
| ③5G/AIを活用したロボットプラットフォームとロボットサービスの研究開 | ⑧幸福長寿な暮らしをかなえる自然に活動的となる住まいの研究開発 |
| ④分野適応技術による自然言語処理技術のビジネス展開 | ⑨AIを用いた粉体原料の物性に関する予測システムの構築 |
| ⑤中小工場を再エネ化する水素蓄電・ネットワーク対応AIエンジン |  |

**＜ICT活用による建設産業支援＞**

〇　ICT活用工事の普及に取り組むため、関係事業団体とともに推進協議会の設置や意見交換を行う

**着工件数（2019年度）：21件**

**【2-2　農林水産業の競争力の強化】**

**＜農業生産技術の開発・普及＞**

　　　〇　「あいち型植物工場推進事業」として、トマト、いちご、きく等10品目を対象にICTを活用した生産を行う農家を支援

**ICT活用に取り組んだ農家（2016年度～2018年度）：455戸**

**＜特産品のPR強化＞**

#### ○　県産水産物を提供する小売店や飲食店で「あいちのおさかなスポットARスタンプラリー」を開催

**スタンプラリー期間の動画視聴回数（2018月9月～2019年2月）：7,104回**

### ＜効率的な森林整備＞

〇　「あいちのICT林業活性化構想」（2018年作成）に基づき、林業のスマート化を推進

**木材生産量　2018年度：128千㎡、2019年度：139千㎡**

### 【2-3　ICTの新たなビジネスモデルの開発・人材育成】

**＜ICTスキルを持つ人材の育成＞**

#### ○　「愛知県IoT推進ラボ」において、自動車、ロボット、健康長寿などの産業分野を中心に、企業のIoTの活用を支援

**セミナー参加者　2018年度：196名、2019年度：108名**

**【2-4　商業の活性化】**

**＜商店街情報の発信強化＞**

〇　活性化モデル商店街を指定し、その商店街の事業について「げんき商店街推進事業費補助金」により優先的に支援

**通行量が改善した商店街（2018年度）：86％**

**Ⅲ　暮らし安心・安全**

　　　社会生活の基盤となったICTを防災・防犯、医療、教育など、県民の暮らしに役立て、「暮らしの豊かさ」に繋げていくことが重要となってい

ます。人口を維持し、暮らしやすい環境を守るため、地震や風水害への対策や、高齢者や女性・子どもへの防犯対策には、細やかな情報伝達が重

要です。交通安全対策、健康づくりの推進など、超高齢化社会への対応も必要です。さまざまな地域の課題に対し、ICTを活用して取り組んでい

きます。

ICT戦略プランの施策項目

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 施策の展開 |
| 3-1　災害や犯罪に負けないまちづくり | ・災害時における情報伝達  ・ネット犯罪対策　　等 |
| 3-2　ＩＴＳ・交通対策の推進 | ・ＩＴＳ等の研究支援・普及・拡大 |
| 3-3　健康長寿あいちの実現 | ・企業等における健康経営の支援  ・地域包括ケア　　等 |
| 3-4　女性の活躍促進・子育て支援 | ・ワーク・ライフ・バランスの推進  ・結婚・子育て支援　　等 |
| 3-5　学ぶ楽しさ・生涯学習の実現 | ・魅力ある授業の実施  ・Webサイトを通じた学校・図書館・生涯学習情報の提供　　等 |
| 3-6　「環境首都あいち」の実現 | ・エコアクションの促進　等 |

### 【3-1　災害や犯罪に負けないまちづくり】

**＜災害時における情報伝達＞**

〇　市町村の災害対応業務の効率化や避難勧告等の迅速な意思決定を支援するため、「市町村防災支援システム」を構築（2017年～）

〇　従来は把握できなかった水位の監視を可能にするため、IoT技術を活用した危機管理型水位計を設置（2018年～）

**＜ネット犯罪対策＞**

#### ○　中小事業者への情報セキュリティ対策支援として、中小事業者情報セキュリティ対策支援ネットワーク情報交換会を開催

### 【3-2　ＩＴＳ・交通対策の推進】

**＜ＩＴＳ等の研究支援・普及・拡大＞**

#### ○　交通事故のない社会を目指し、県内の交通事故を減少させるため、ITS（高度道路交通システム）の普及・啓発を行うとともに、「安全

#### 運転支援システム」や「自動走行」の実証実験を支援

**自動運転・自動車安全技術の実証実験　2018年度：29回、2019年度：36回**

### 【3-3　健康長寿あいちの実現】

**＜企業等における健康経営の支援＞**

〇　健康づくり支援アプリ「あいち健康プラス」配信開始（2019年3月～）

**企業版申し込み数：7社**

**＜地域包括ケア＞**

#### ○　高校、大学、一般企業で認知症VR体験会の実施（2019年度）

**体験会の参加人数（全3回）：125名**

**＜オンライン服薬指導＞**

　　　 〇　国家戦略特区の規制改革メニューである薬剤遠隔指導について、福岡市および兵庫県養父市と並び、国内で初めて開始（2018年度～）

**登録薬局数　4件、オンライン服薬指導実施回数　2018年度：15回、2019年度：39件**

### 【3-4　女性の活躍促進・子育て支援】

**＜ワーク・ライフ・バランスの推進＞**

　　〇　県職員向けサテライトオフィスの試行設置

**2017年3月～（本庁舎）：24人**

**2018年（自治研修所、東京事務所追加）：411人**

**2019年（西三河総合庁舎、東三河総合庁舎追加）：398人**

#### ○　県職員のモバイルワーク及び在宅勤務の試行導入（2020年１月～）

**テレワーク用端末導入数：100台**

### 【3-5　学ぶ楽しさ・生涯学習の実現】

**＜魅力ある授業の実施＞**

#### ○　ICTの授業活用に関する研究を行い、愛知県総合教育センターの教育コンテンツを拡充

**Webコンテンツ追加数　2017年度：16件、2018年度：9件**

**【3-6　「環境首都あいち」の実現】**

**＜廃棄物保管状況の確認の高度化＞**

〇　地上からの確認が困難である産業廃棄物保管場所でドローンを用いて撮影を実施

**活用件数　2017年度：2件、2018年度：2件、2019年度：1件**

クラウドの普及、マイナンバー制度の導入、増大するサイバー攻撃の脅威など大きく変化するICT環境に適切に対応するとともに、ICTを活

**Ⅳ　ICT基盤強化**

用した情報基盤のより一層効果的・効率的な運用が求められています。このため、自治体クラウドの推進やマイナンバー制度の導入などに際し、セキュリティを確保しつつ行政コストの低減や業務の改善を図っていきます。

ICT戦略プランの施策項目

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 施策の展開 |
| 4-1　自治体クラウドの推進 | ・庁内クラウド  ・市町村におけるクラウド導入の支援 |
| 4-2　マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善 | ・マイナンバー制度への対応  ・業務プロセス改善 |
| 4-3　情報システムの活用拡大、調達最適化 | ・情報システムの活用・更新  ・情報システムの適正調達の推進 |

### 【4-1　自治体クラウドの推進】

**＜庁内クラウド＞**

#### ○　IT経費の削減、情報システムの安定的な稼働および効率化を目的とした庁内クラウドへの業務システムの移行

**庁内クラウド上の稼働数　2016年度：44システム、2017年度：50システム、2018年度：55システム、2019年度：60システム**

**＜市町村におけるクラウド導入支援＞**

　　　〇　総務省に講師を依頼し、市町村を対象とした自治体クラウドについての講演会を開催（2016年度）

### 【4-2　マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善】

**＜マイナンバー制度への対応＞**

#### 〇　個人番号利用事務について、行政ネットワークとの分離や端末の二要素認証によるセキュリティ強化を実施（2016年度）

#### ○　情報連携に用いる「データ標準レイアウト」改版対応のため、各業務課でシステム改修や副本登録等の準備作業を実施（2018年度～）

### 【4-3　情報システムの活用拡大、調達最適化】

**＜情報システムの活用・更新＞**

#### ○　会議録作成事務の省力化に資する音声認識システムの導入（2019年３月～）

**利用件数：136件、会議録作成時間の削減効果：47％（平均285分）**

○　タブレット端末で会議資料を閲覧できるペーパーレス会議システムを配備（2019年4月～）

**ペーパーレス会議の開催：74回、用紙削減枚数：約3万7千枚**

#### ○　RPA試行導入による行政事務の効率化

**2018年度（実証実験）総務課内の庶務・経理関係４業務　削減率：最大95％、年間換算削減時間：合計約149時間**

**2019年度（試行導入）給付・手当、許認可関係６業務　　削減率：最大99％、年間換算削減時間：合計約850時間**

　　　今後ますます急速に進行する「データ社会」に対応するため、行政が保有する統計情報などの様々なビッグデータや民間企業・大学などの研究

**Ⅴ　データ社会への対応**

　　機関等が保有するビッグデータの分析・解析結果を、県の計画策定や施策立案等の行政運用にも活用していきます。また、進化するIoTへの対応

　を見据え、新たな産業の創出に役立てるよう、県が保有するデータを広く公開するオープンデータを推進します。

ICT戦略プランの施策項目

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 施策の展開 |
| 5-1　オープンデータの推進 | ・オープンデータの推進 |
| 5-2　ビッグデータの活用 | ・ビッグデータの活用 |
| 5-3　IoTへの対応 | ・IoTへの対応 |

### 【5-1 オープンデータの推進】

**＜オープンデータの推進＞**

#### ○　愛知県オープンデータカタログの充実

**公開ジャンル数：163件、公開データ数：4,536件（2019年度末時点）**

**【5-2　ビッグデータの活用】**

　**＜ビッグデータの活用＞**

　　　〇　Wi-Fiインフラを活用した訪日外国人の行動分析を実施（2016年度）

〇　民間企業が保有するビッグデータを活用した東三河地域に訪れる観光客の動態調査を実施（2019年度）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 調査項目 |  | 宿泊地分析 | 宿泊した市町村ごとの来訪者を算出 |
| 性年齢層分析 | 性別／年齢層ごとの来訪者を算出 | 交通手段分析 | 交通手段ごとの来訪者数を算出 |
| 旅程／宿泊分析 | 旅程／宿泊ごとの来訪者数を算出 | 交通結節点分析 | 交通結節点ごとの来訪者数を算出 |
| 発地分析 | 発地地域、都道府県、市町村ごとの来訪者数を算出 | 滞在時間分析 | 昼間の平均滞在時間を算出 |

### 【5-3　IoTへの対応】

**＜IoTへの対応＞**

#### ○　「愛知県IoT推進ラボ」（再掲P６）

#### ○　危機管理型水位計の設置（再掲P７）

#### 〇　LINE公式アカウント「愛知県-新型コロナ対策パーソナルサポート」を開設し、登録者から提供された体調などの情報をもとに、一人

#### ひとりに合わせた新型コロナウイルス感染症に関する情報提供や、チャットボットによる自動応答サービスを開始。また、情報を分析し、新型コロナウイルス感染症の流行状況等を把握し、対策に活かす取組を実施。

#### **友達登録者数（2019年度末時点）：135,237人**